

株式会社西京銀行

ディスプレイ一体ゼロクライアントで営業店のイメージを一新
ゼロクライアントをキーに情報活用を推進し地域貢献度を高める



目的

- 営業店の既存シンククライアント
 端末500台のリプレース
- 省スペースによる作業スペースの確保
- ディスプレイ一体型によるスッキリとした
 店内のイメージ
- 節電対策として端末の消費電力量の削減
- 山口県内などに展開する営業店の端末に関する管理の省力化

アプローチ

- サーバOSにWindows Server 2008R2、クライアント仮想化にXenAppを活用しSBC方式によるシンククライアントを導入。端末にはディスプレイ一体型ゼロクライアント「t410 AiO」を採用
- 全63営業店への展開では「HP Smart Zero Client Service」を活用。各営業店に「t410 AiO」を納品し、箱から取り出してケーブルに接続し電源を入れるだけの容易な設定を実現

システムの効果

- ディスプレイ一体型で電源が1本で済むため、配線を気にせずレイアウト変更にも柔軟に対応
- 「t410 AiO」の超低消費電力により既存端末と比べて消費電力量を1/5に削減
- 「HP Smart Zero Client Service」を活用したリモートによる運用管理を実現し運用管理を効率化。システム部が企画開発など本来業務に集中できる時間を創出

ビジネスへの効果

- 18.5インチワイドの液晶モニターにより見やすさが向上。また画面サイズが大きくなって省スペースにより作業スペースは拡大
- 自店、他店を問わず空いている端末で自分のデスクトップ画面を利用。セキュリティを確保しながら生産性を向上
- 今後、ホスト系、情報系、インターネットなどシステムを問わずシンククライアントをキーに情報活用を推進し、お客様サービスの向上を図る

80年以上、山口県の発展に寄与してきた西京銀行。同行は、歴史ある銀行と攻める銀行の2つの顔を持つ。ICTにも積極的に取り組んでおり、シンククライアントも10年前に他行に先駆けて導入した。今回、既存システムの老朽化に伴い、刷新を図った新システムの端末としてHPのディスプレイ一体型ゼロクライアント「HP t410 All-in-One Smart Zero Client」を採用。営業店への導入のため、省スペース、省電力、管理の省力化に加え、ディスプレイ一体型のスッキリとした見た目も採用のポイントとなった。さらに、箱から出してケーブルに接続し電源を入れるだけといった設定の容易さも高く評価された。今後、ゼロクライアントをキーに情報の有効活用を推進しお客様サービスの向上を図っていく。

10年前、他行に先駆けて導入したシンククライアントシステムを刷新

日本経済が復興に向かって歩みを進める中、その動きを本格化させる上で地方経済の活性化は欠かせない。山口県を中心に金融事業を行っている西京銀行は、1930年創業、80年以上にわたり地元の発展に寄与してきた。企業理念は、地域を活性化させるActive、お客様とのコミュニケーションを大切にするCommunication、時代のニーズを先取りし創造していくTrendの3つのキーワードの頭文字で構成された「ACT-BANK」。2012年春からスタートした新中期経営計画では、「お客様に“さすが西京”といわれる商品・サービスの提供を目指します!」をスローガンに、お客様中心主義を徹底し、一歩踏み込んだ地域貢献への取り組みを進めている。

「銀行というビジネスは、非常に多くの人や情報と出会います。そうした出会いの中から、人と人、人と情報の橋渡しを行い、新たなビジネスの創造を支援していく。そのために地域連携部という部署を創設しました。当行とお取引の有無に関わらず地域の活性化につながることであれば積極的に参画し応援させていただきます」



とシステム部 部長 杉村祥弐氏は語る。

地域貢献度を高めていくためには経営基盤の強化も必要となる。同行は地域金融機関としての存在感を確固たるものにするべく、預金量1兆円の実現を目指している。また、金融事業を支える勘定系システムと情報系システムの大幅な更改も実施した。勘定系はホストコンピュータの切り替え、情報系システムは10年以上利用してきたシンククライアントシステムの刷新がテーマとなった。

同行がシンククライアントを導入した2000年代初頭は、金融機関はもとより一般企業でも導入実績がまだ少ない時期である。同行は、歴史ある銀行と、新しいことに挑戦していく攻める銀行の2つの顔も持つ。「大手銀行に対抗するためにはチャレンジが大切になります。ICTも後追いではなく先駆的に活用し競争力を高めていくというのが経営方針です」と杉村氏は話す。





株式会社西京銀行
システム部 部長
杉村 祥弐氏



株式会社西京銀行
システム部 副代理
邑上 良己氏

店舗導入のためスタイリッシュな こだわりも満たすディスプレイ 一体型「t410 AiO」を採用

同行のシステム部は、設計、開発から運用管理までを担っており、業務の負荷は常に増大傾向にあった。10年前にシンクライアントを導入した理由もセキュリティ強化と運用管理の効率化が目的だった。

「当時は情報統制が経営課題となり始めていた頃です。パソコンに残ったデータをどう管理するか。システム部では頭を悩ませていました。またクライアントOSが次々とアップデートされ、新旧バージョンが混在し管理も複雑化する中、1,000台以上のパソコンを個別に管理していくことに限界も感じていました」と邑上氏は振り返る。

こうした課題を解決するために同行はCitrix社のMetaFrameを活用したSBC (Server Based Computing) 方式のシンクライアントを導入した。2003年、個人情報保護法の成立などセキュリティ強化に対する社会の関心が高まっていく中、データが端末に残らないシンクライアントの導入が同行にもたらした信頼感や安心感といった目に見えない効果は計り知れない。またサーバ側で端末の一元管理が可能となり、運用管理の負荷も大幅に軽減できた。「イニシャルコストはそれなりにかかりましたが、少人数による運用管理の実現といった運用コスト面だけでも投資は十分回収できました」(邑上氏)。

2012年、シンクライアントシステムの老朽化に伴い、同行はCitrix社最新のSBC方式ソフトウェアCitrix XenApp(旧 名: Citrix MetaFrame、Citrix Presentation Server)の導入を決断。合わせて既存シンクライアント端末を刷新することになった。

新たな端末に求めたポイントとして、システム部副代理 邑上良己氏は、見た目の印象、省スペース、省電力、管理の省力化の4つのポイントを挙げる。

「営業店への導入のため省スペースはもとより見た目の印象は重要です。求めたのはスッキリとした先進的なイメージでした。そのためにディスプレイ一体型にこだわりました」(邑上氏)。

しかし、モニターに本体を背負わせるタイプの一体型ばかりで、「ディスプレイと完全に一体化したタイプはなかなか見つからなかった」という。また既存のモニター画面のサイズが15インチだったため、より大きな画面サイズを求めるユーザーの声も多くあった。さらに省電力でありながらも高い処理性能も必要としていた。

「ある展示会でHPのディスプレイ一体型ゼロクライアントを見た瞬間に求めていた製品はこれ

だと思いました。前面はもちろん背面も非常にスッキリとしていました。また省スペースだけでなく性能や画面サイズ、省電力など当行の要望をすべて満たしていました」(邑上氏)。

シンクライアントに豊富なノウハウと先見性をもつ同行が、今後の銀行業務を支える新たな端末として選択したのが、HPのディスプレイ一体型ゼロクライアント「HP t410 All-in-One Smart Zero Client (t410 AiO)」だった。

箱から取り出してケーブルに 接続し電源を入れるだけ

新たな端末の選択ではゼロクライアントの運用をサポートする「HP Smart Zero Client Service」に対する高い評価もポイントとなった。「HP Smart Zero Client Serviceを利用することで、t410 AiOは起動と同時にサーバー上に格納された設定情報を自動的に読み込み、仮想化環境に接続するため端末ごとの設定を省くことができます。運用開始後の設定変更の際も便利ですが、営業店への展開においても非常に役立ちました。サーバーに接続すると端末自身でセッティングをしてくれます。これには驚きました」(邑上氏)。

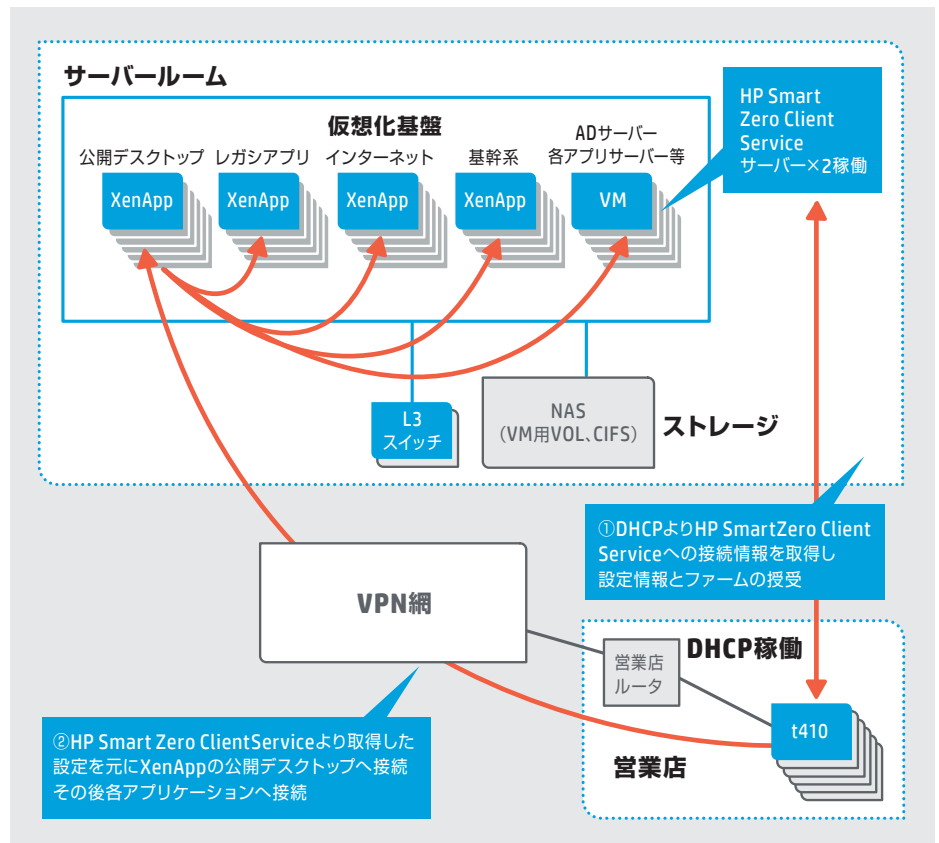
山口県内を中心に広島地区、九州地区に展開する全63営業店において、既存端末500台の「t410 AiO」へのリプレースは、1人の担当者が約1カ月間で完了した。

「今回、拠点への展開の仕方は大きく変わりました」と邑上氏は驚きを隠さない。「運送会社が各営業店に直接納品したt410 AiOを箱から出して机の上に並べ、ケーブルに接続して電源を入れるだけです。自動的にサーバーから設定情報のダウンロードが開始され、約10分でセッティングが完了します。極端なことを言えば、納品するだけで営業店でも簡単にセッティングはできるのですが、当行ではトラブル防止のためLANケーブルはシステム部が担当することになっています」(邑上氏)。

「シンクライアント導入以前なら3人体制による半年間のローテーションで行う作業です。既存シンクライアントの運用では、端末自身でセッティングを行うといった、ここまでの自動化はできませんでした」と杉村氏も付け加える。

新システムへの移行は、まず旧環境をXenApp上に構築し「t410 AiO」で試験運用を行い、2013年5月にXenAppに切り替えて本稼働を行うステップを踏んだ。また旧環境でしか動かない業務アプリケーションについては切り替えることなくそのまま利用可能とすることで検証や更新作業のコスト削減を図った。





「新環境への切り替えもサーバ側で1つの設定を行うだけですべて新しい環境に変わりますし、万一、切り替えてトラブルが発生しても旧環境にすぐに戻すことができます。設定を元に戻したら、営業店に電話して電源を入れなおしてもらいだけです」(邑上氏)。

自店、他店を問わず空いている端末で自分のデスクトップ画面を利用

「t410 Ai0」を導入した同行の営業店はこれまでの銀行のイメージを一新した。事務処理の二線には机がなく横長のテーブルの上に「t410 Ai0」が並べて置かれている。窓口の後方処理を行う二線では1人1台の端末が用意されているが、専用の端末があるわけではなく、必要なときに空いている端末の前に座って作業を行う。また外回りの営業が外出しているときは、窓口業務を行う一線の担当者が営業用の端末を使って自身のIDでログインして利用するという効率的な使い方もしている。

「自店内はもとより他店や東京本部など出張先でも、空いている端末で自分が使っているデスクトップ画面を利用できるメリットは大きいですね。移動に伴ってノートパソコンを持ち歩く必要もなく、セキュリティを確保しながら生産性を向上できます」(邑上氏)。



既存端末は本体とモニターの2本の電源コードを必要としたが、「t410 Ai0」は電源コードが1本で済むため、配線を気にすることなく見た目もシンプルだ。電源とLAN配線があれば容易に移動が行えるため、レイアウト変更にも柔軟に対応できる。

省電力効果としては既存端末の1/5に消費電力量を削減。新店舗の開店や店舗改装の際も端末の消費電力量を気にする必要はなくなったという。

営業店で利用する社員の間でも「t410 Ai0」は好評だ。「性能面では描画がとてもスムーズです。また15インチから18.5インチワイドの液晶モニターへと画面サイズが大きくなったことで、Microsoft Excelなどもとても見やすくなったという声が多く寄せられています。画面サイズが大きくなって省スペースなので作業スペースは広いです」(邑上氏)。

運用面での効果について「インフラで本当に大変なのは運用です。それが、一回動かしてしまうと手間がほとんどかかりません。駆動部のないゼロクライアントは故障率も低いのですが、故障しても新しい端末を納品するだけです。システム部としては本来の業務である企画立案や開発に専念することができます」と邑上氏は笑顔になる。

今後の展望について杉村氏はこう話す。「本部の端末など約300台をt410 Ai0にリプレースする予定です。また新システムのインフラを

使ってタブレットやスマートフォンで社内システムにアクセスしメールなどの閲覧を可能にしたいと考えています。さらにホスト系、情報系、インターネットといったシステムを問わず、ゼロクライアントをキーにしてワンストップで必要な情報を入手できる仕組みづくりもこれからの課題です。情報の有効活用を進めることで、お客様

により付加価値の高いサービスの提供を目指しています。

地域に密着し、地域とともに成長を続ける西京銀行。「さすが西京」とお客様に評される同行のチャレンジを、HPIは先進のゼロクライアント技術を駆使し支援していく。

株式会社西京銀行 概要

本店

山口県周南市平和通1丁目10-2

創業

昭和5年

資本金

126億9千万円

従業員数

742名

店舗数

63店舗(うち8出張所)

(平成24年3月31日現在)

<http://www.saikyobank.co.jp/>

お問い合わせはカスタマー・インフォメーションセンターへ

03-5749-8343 月～金 9:00～19:00 土 10:00～17:00(日、祝祭日、年末年始および5/1を除く)

HPのシンクライアント製品に関する情報は <http://www.hp.com/jp/thinclient>

本ページに記載されている情報は取材時におけるものであり、閲覧される時点で変更されている可能性があります。予めご了承下さい。

本書に含まれる技術情報は、予告なく変更されることがあります。

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

記載事項は2013年6月現在のものです。

© Copyright 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

日本ヒューレット・パカード株式会社

〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1

CDT12874-01

